

うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。
 問 市民協働課 ☎82・2130/IP ☎88・9085

1 桜まつり

〜 大宇陀政始まち協〜

4月11日(土)、旧守道小学校運動場にて「桜まつり」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、桜の花びらが舞う中、昨年を上回る318人の参加があり、大変にぎわいました。会場には焼きそば、おでん、綿菓子、よもぎホット(政始オリジナル大判焼き)、フライドポテト、ポップコーンなどの飲食ブースが並び、スーパースポーツの盛り上がりも目撃されました。



▲演奏を楽しむ皆さん



▲たくさんの人で賑わっています

ステージでは、平成8年に守道小学校の先生方を中心に結成された「かぎろひ夢バンド」をお迎えし、迫力ある演奏で会場を盛り上げていただきました。準備には今年も60人のスタッフが参加。前日の雨で会場の状態が心配される中、早朝から飾り付けや駐車場設置、前日からの仕込みなど、多くの協力により無事開催することができました。主催者挨拶では、会長からスタッフへの感謝の言葉も述べられました。

2 やくし祭り

〜 枝垂れ桜の下で〜

〜 室生地区まち協〜

4月5日(日)室生地区内にあるお寺「西光寺」で、地区住民同士の交流を深める「さくら祭り」を数年に開催しました。



▲満開の枝垂れ桜

毎年、薄ピンク色の小花をたくさん枝垂れさせる桜のもとで、地区住民や訪れる観光客を地区全体でもてなし、人と人がつながる交流の場を提供してまいりました。しかし、コロナ禍の影響で事業は縮小し、昨年まで



▲話が弾んでいます♪

休止状態となっていました。そのよゆうな中でも、開花の時期には「桜のライトアップ」を実施しており、「人の集まる場を再生しよう」との声が上りました。そこで今回は地区住民を中心として、地元土産の和菓子や軽食、飲み物等を用意し、和やかなひとときを楽しみました。また、観光客の方々にも立ち寄っていただき、地元の方とのふれあいや、歴史あるお寺に祀られている仏様の拝観もしていただきました。今後もこのような「おもてなし事業」を継続することで、地域交流の場を提供し、地区の活性化につなげていきたいと考えています。また、周辺の環境整備や歴史的遺産の保護に目を向けながら活動していきます。

令和8年度宇陀市まちづくり活動応援補助金の採択事業が決定

団体名	事業名と活動内容
大師管理委員会	【大師山石仏群の保全と活用事業】 石仏群の安全確保のため木製手すりを鋼製へ更新し、ライトアップを通じた観光資源化と草刈りなどの維持体制の強化を図る。
「菟田の」辰砂水銀資料を遺す会	【辰砂水銀資料を次世代へつなぐ事業(クイックシルバー事業)】 水銀関連資料の発掘・保存とパネル展示、Web化を進め、遺構整備とあわせて郷土史理解の深化と観光資源としての活用を推進する。
向測の歴史を継承する会	【向測の歴史を継承する】 古代伊勢街道の案内看板設置と散策コース整備、地域交流や講演活動を通じて歴史の継承と地域活性化を図る。
R L A Bの会	【R L A Bプロデュース宇陀地域とともに創るネイチャーポジティブな暮らし支援事業】 サイエンスカフェや自然観察、生物に配慮した農業実践を通じて自然科学教育と生物保全の意識向上を図るとともに里山の魅力を発信する。
宇陀の薬草を全国に広める会	【宇陀で学ぶ薬草講座の開催】 薬草講座や薬草観察、料理体験を農家や事業者と連携して実施し、薬草の知識普及と地域資源の魅力発信を体系的に行う。
衆盆踊り実行委員会	【衆盆踊りin宗祐寺】 盆踊りやキッズイベント、夜店、抽選会に加え花火を新規実施し、幅広い世代が参加する新たな地域行事として定着を目指す。
東大和高原探検倶楽部	【東大和高原の自然と暮らし体験】 地域資源を活用した体験型観光を企画し、事業者間の連携体制を構築することで地域産業の活性化と持続的な観光展開を図る。
うだ CSDo	【学校菜園 Lab プロジェクト】 学校菜園の運営を通じた多世代交流の場づくりと、それを地域で支えるための人材育成講座を実施し持続可能な地域コミュニティの形成を目指す。
オレンジ・サロン・ド・AIKA	【オレンジ・サロン・ド・AIKA】 地域施設やキッチンカーを活用した食事提供と交流の場づくりにより、多世代の支え合いと地域福祉の向上を図る。
宇陀おもちゃ病院	【宇陀おもちゃ病院】 修理体制強化のため専用工具や消耗品を整備する。市内こども園等への周知を広げることで活動範囲を拡大し、子どもの笑顔創出につなげる。
榛原さずな広場実行委員会	【榛原さずな広場】 空き地を活用した交流広場を継続運営し、各種団体と連携しながら地域住民の交流促進とコミュニティ形成を進める。
すこやか住まいの会	【木造住宅改修における性能促進事業】 住宅の耐震・省エネ改修に関する情報発信や見学機会の提供を行い、既存住宅の性能向上と適切な再活用を促進する。

クチナシ



あちこちの庭から、ジャスミンに似た甘いクチナシの香りが漂ってきます。クチナシの花は一日花で、朝、きれいに咲いていても、次の日は枯れてしまいます。朝、きれいだなど見て外出し、夕方、帰った時に花弁だけ丹念に採集すれば、次の日も新しいきれいな花だけを見ることが出来ます。花弁だけを採集するには理由があり、萼の部分をおおってあげば、一重のクチナシなら、秋には黄赤色に熟れる果実が採れます。八重のクチナシでも、稀には果実が採れるでしょう。

持ち帰った花弁は、塩を少し入れた熱湯で、さつとゆでて酢の物にすると、ぬめりがあり、おいしいものです。特に花弁の三杯酢を食べて寝ると、熟睡できます。また、乾燥させて、花茶にすることもできます。八重の花と一重の花で微妙に香りが違うので、二種類の花茶を作ることができます。果実の生薬名は山梔子と言い、漢方薬では消炎、利胆作用とともに便秘を解消する生薬としてよく使われています。また、染料としてもよく使われ、大根やきんとんをはじめ、各種食材の色付けに用いられます。



※当市で「薬草活用講演会」をしていたいただいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

薬草道遥(やくそうしやうよう) 毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075